



健康支援課  
☎973-3209

# 小学校入学前にワクチン接種で 麻疹・風しんを予防しよう！

麻疹・風しん（MR）ワクチンの予防接種はお済みですか。発症すると重症化しやすい麻疹等の感染症は予防が大切です。夏休みが終わる前に、2回目の予防接種がまだの方は早めを受けておきましょう。

ここでは、麻疹（はしか）・風しん（三日はしか）の予防について、確認しましょう。

## 麻疹・風しんについて

麻疹は、かかると高熱や発疹などの重い症状以外に、肺炎や脳炎などの生命を脅かす合併症を引き起こす可能性があります。

風しんは、妊娠初期の女性がかかると胎児が心臓病や白内障、聴覚障害を持って生まれる可能性がある病気です。また大人になってかかると重症化しやすいです。

麻疹・風しんどちらの病気も感染力が強く、根本的な治療法はないので、予防が大切です。

## 予防の勧め

麻疹・風しんは予防接種で予防可能な感染症です。本人がかからない、重症化しないためであることはもちろん、周りに感染を広げないためにも予防接種を受けることが大切です。

平成10年～13年の間に2度の大きな流行があり、県内で9名の乳幼児が亡くなりました。このような悲劇を2度と繰り返さないために、麻疹を蔓延させないことが大切です。

さらに平成19年に全国的に10から20歳代の方に麻疹が流行したのには、予防接種の未接種かまたは、受けていても免疫力が低下していたためといわれています。

## 予防接種について

麻疹・風しん対策を強化するため、平成18年4月から2回接種が導入され、麻疹・風しん混合（MR）ワクチンを接種することになりました。

## なぜ2回接種が必要か？

うるま市の平成20年度麻疹・風しん第2期の接種率は86・7%で流行防止に効果的とされる95%にはまだ程遠い状況です。麻疹排除を達成するには、麻疹ワクチン接種率のさらなる向上が必要です。

今年度の第2期接種対象者は平成15年4月2日生まれから平成16年4月1日生まれまで。

接種期間は平成21年4月1日から22年3月31日までです。

接種期間を過ぎると、公費負担対象外となり、自己負担での接種となるので注意が必要です。（約一万円かかります。）

## 理由その1

1回の接種で免疫がつかなかった子どもたち（数%存在すると考えられます）に免疫を与えます。

## 理由その2

1回の接種で免疫がついたにもかかわらずその後の時間の経過とともに、その免疫が減衰した子どもたち

に再び刺激を与え、免疫を強固なものにします。

## 理由その3

1回目に接種できなかった子どもたちにもう一度、接種の機会を与えるため。

平成21年度の第2期予防接種の対象者は、来年度に小学校入学を控えた幼児の皆さんです。

小学校は本格的に集団生活が始まります。麻疹・風しんは集団内で広がりやすいので、学校に持ち込まないためにも早めのワクチン接種で予防しましょう。

詳しくは、健康支援課までお問い合わせください。

## <参考>

国立感染症研究所感染症情報センター、麻疹QA

<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/QA.html>

はしかQ＆A

<http://www.osh.or.jp/hashikazer/index.html>